

慶和園



年頭のご挨拶

老人福祉施設 慶和園 施設長 澁谷 剛

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年中は、慶和園に対し格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。昨年を振り返りますと前年に引きつづき新型コロナウイルス対策と共に進めた事業運営の年でありました。



「With コロナ」としてできる事は何か、日常生活及び季節の行事、ご家族とのかかわりについて試行錯誤を重ねた1年でした。その中でも昨年11月に行った「ご家族との懇談会」では、多くの皆様にご参加いただきご利用者の生活状況(居室の様子など)をご確認いただいたと共に担当職員から日頃

の様子のご報告と今後のケア方針の確認を行うことができました。コロナ以前では、当たり前に行っていたことではありますが、改めて「ご家族の安心感」が私たち職員の「働く上での安心感と意欲の向上」に繋がっていることを実感した次第です。本年もこうした皆様とのかかわりを大切に事業運営を進めて参る所存です。皆様にはより一層のご理解とご協力をお願いし、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶 南京極町内会 中村 二郎 会長



新年あけましておめでとうございます。お元気に新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。慶和園さんとは、長らくお互いの行事に参加し楽しく交流いただいている事に感謝申し上げます。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により、町内会の二大行事の新年会とお花見を中止にしました。今年こそは新型コロナが終息し楽しく集える社会になってほしいですね。畑クラブも昨年は日照不足のせいかぶどうが完熟せず残念に思っています。今年は3種のぶどうが実り、

慶和園の皆さんに青空のもとぶどう狩りを楽しんでいただきたいです。畑クラブと言えば重要な会員の柳原 保さんが昨年11月余市町の息子さんのところへ転居しました。隣り同士23年間のおつきあいです。いつも笑顔で本当に温厚な方です。私も見習って何事にも立腹しない人間でありたい。(無理かな?) 毎日雪が降っています。除雪は重労働ですが春からのパークゴルフのトレーニングと思うと楽しくなります。このように何事も前向きにとらえて楽しく過ごしたいと思います。黒松内つくし園さんと慶和園さんの益々の発展と皆様の御健康をご祈念し挨拶とします。

各部門より 新年の抱負: 2023年 こんな年にしたい!

【養護部門】 係長 澤谷 将貴

輝かしい新春をお迎えのことお祝い申し上げます。昨年も新型コロナウイルスの感染症対策として一部面会や外出、行事などに制限がかかる中、皆様のご理解とご協力ありがとうございました。

本年も私たちスタッフはご家族の皆様との限られた時間の中でのかかわりを大切にし、また、ご家族の皆様からの声を真摯に受け止め、ご利用者ケア、ご家族対応、施設運営を進めていきたいと思っております。「コロナ禍だから出来ない」ではなく「コロナ禍でも出来ることをやる」という意識と姿勢を常に忘れず努力していきたいと思っております。本年もどうぞよろしく願いいたします。

【特養部門】 係長 宇治 伸耶

謹んで初春のお慶びを申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大により、出口の見えない閉塞感を抱えている方も多くお見舞いですが、慶和園は皆様から愛される施設運営を目指し飛躍の年となるように、今まで以上にサービスの質の向上を目指します。また、利用者・家族・施設との繋がりを大切にすると共に皆様が安心した生活を送れるよう一層努力して参ります。皆様にとっても素晴らしい年でありませう、本年も昨年同様よろしく願い致します。

『慶和園だより』NO.264 令和5年1月10日発行

〒044-0132 虻田郡京極町字更進 780 番地 1
TEL(0136)42-2201 FAX(0136)42-2209

編集発行 : 老人福祉施設 慶和園 広報委員会
発行責任者: 施設長 澁谷 剛

※「慶和園」だよりに掲載の個人情報、ご本人もしくは、ご家族様の許可を得て使用させて頂いております。

◎今月の羊蹄山: 慶和園スタッフからご利用者、お一人おひとりに宛てた今年の年賀状。ウサギと羊蹄山(?)のご挨拶となりました。

-慶和園運営方針-

- ・慶和園はひとつ。ご利用者・職員で慶(喜)びの和を大切にします。
- 私たちは、チームでご利用者の想いを実現させます-
- ・慶和園は一人ひとりを大切にします。
- 私たちは、自分以外の全ての人に真心をもって親切丁寧に接します。
- ・慶和園は地域とのつながりを大切にします。
- 私たちは、地域における役割りを理解し信頼を得られる行動をとります。



慶和園「わたしたちの深化・進化」
～各ユニット・取組の進捗状況のご報告～

ようていふきだしユニット

「ご利用者を大切に。自分も大切に。」
～ステップアップ～

2022年度の慶和園運営テーマは、「ご利用者のために深化宣言！」
～私たちも進化しよう！！～
今年度も残り3カ月、各セクションにおけるしんかの取組の進捗状況についてご報告させていただきます。今月は「ようていふきだしユニット」からの報告です。



ようてい・ふきだしユニットの深化宣言は、「①工夫を凝らした行事の開催、②ご利用者の状態に応じたケアサービスの提供、③職員間では、出来ない事への助け合いが出来る関係性を築いていこう。」そのような思いで「ご利用者を大切に。自分も大切に。～ステップアップ～」という目標になりました。



①では、通年で開催の喫茶「ひととき」において、おやつやレクリエーションが毎月同じ内容にならないよう、マンネリ化しない事を念頭に企画し、毎回新鮮な雰囲気を進めることができました。②では、日々の気づきをケアマネや看護師、栄養士と共有し、主に多く携わっている担当介護職員の意見などを取り入れ検討することで少しずつ深化できているのでは？と感じています。また、③では、ユニット会議前に業務を通じて感じている事や検討したい事、困り事などを事前に集約。会議の場で検討し合う方法で進化できたのでは、と思っています。

引き続き、ご利用者とのかわりを大切に、職員間の連携を大切に進め、少しずつでもステップアップが図れるよう取り組んでいきます。

慶和園のDSI 多文化共生 インドネシア
ラフィ ハビラー
ブラセティア 介護員(21歳)



昨年5月から特定技能就労として慶和園で働いているラフィ職員ですが、日本に来て1番驚いたことは、ズバリ気温だそうです。インドネシアの気温は1年中 30℃近くあるので日本に来た時、20℃にも及ばないことにはとても驚いたそうです。さらにインドネシアではバスや電車などの切符の値段が日本に比べて高らしく、現地の方は基本的に自分の乗り物(車やバイク、自転車など)を持っており、どこへ行くにも自分の乗り物を使うので毎日、道路が混んでいることも教えてくれました。「文化の違う日本での生活はまだ慣れない事もありますが、これからも頑張っていきます。」と抱負を語っておりました。

養護部門 新型コロナウイルス対応を終えて
全31日間 副施設長 山中 幸代

この度の養護部門におけるコロナ感染症につきまして、ご家族の皆様には多大なご心配をおかけしましたこと心よりお詫び申し上げます。養護ご利用者11名、職員2名の罹患がありましたが、昨年末12月27日をもちまして無事に終結となりました。罹患者全員が軽症で経過し安心したところです。今回の経験から学んだ事として、潜伏期間3～5日の5日目に発症されることが2度あり潜伏期間が長かったこと、トイレなどの共有部分や複数で触る物を介しての接触感染が疑われ、掃除・消毒は行っていたものの、通常の清掃方法だけでは除去しきれない、感染力の強さを感じました。いつ発症するか、いつ終息するかわからない見えないウイルスとの戦いは、ご利用者の精神的・身体的負担が非常に大きかったことから、各居室中心の生活でも体を動かす機会を設け、毎日2回(午前・午後)ラジオ体操を実施。また、季節を感じるようにクリスマスツリーの飾りつけやケーキ、甘酒の提供を行うなど工夫を重ねました。職員も長引く感染症対応で疲弊感是否めませんでした。特養職員からの励ましの言葉や勤務フォローなどあり、全スタッフの協力の基、乗り越えることができました。

現在、慶和園ではこの度の対応に関する振り返りアンケートを実施。各職員からの意見を踏まえ、この経験を活かして具体的な感染症対策の事業継続計画の策定に取り組んでいきます。

【ご厚志に感謝いたします。】

12月1日～31日分 < 順不同・敬称略 >
【寄付金】京極町社会福祉協議会(京極町)

【寄付品】

サロンドシエル(京極町)-京極石油(同)-福富 純一(同)-松浦 信一(同)-京極調剤薬局(同)-羊蹄グリーン病院(同)-かふえもか(同)-京極町社会福祉協議会(同)-羊蹄清掃社(同)-鈴木商事(同)-船場 實(同)-樋原 芳雄(同)-南北海道ヤクルト販売(俱知安町)-清野 栄子(同)-遠藤 健次(札幌市)-日本ガード(同)-バンメディカル(同)-石橋 智(同)-新栄産業(室蘭市)-ヨシヤ(小樽市)-佐藤 慎一(黒松内町)-加藤 喜代志(滝川市) 以上

【2023年1月10日 ～ 2月の行事予定】

【1月】	【2月】
13日 新年お祝い	13日 出張理容(サロンドシエル)
23日 出張理容(竹山美容室)	17日 養護運動会
30日 慶和園 実践報告会	27日 出張理容(竹山美容室)

～ 相手の心を想う ～ 広報委員 佐藤 瑛美莉



現在、慶和園は外国人就労者の方が増えています。もちろん言葉の壁があり、お互い話の内容を理解するまでに時間がかかる事や情報伝達が上手い出来ない事もあります。ですが、そこはお互いに歩み寄り、ご利用者のために一緒に取り組んでいます。外国人の若いスタッフが生まれ育った土地を離れ一生懸命頑張っている姿を見ると、学ぶことも多くあり、私も初心に振り返らなければ!という気持ちになります。'全てはご利用者のために'。本年もよろしくお願ひ致します。